

令和4年全国山火事予防運動

林野庁では、3月1日から7日まで「山火事を 防ぐあなたの 心がけ」を統一標語として、「全国山火事予防運動」を実施し、全国で山火事予防意識の高揚を図る取組や、森林パトロール等の実施を呼びかけます。

山火事の発生（写真提供：近畿中国森林管理局）

春は山火事にご注意ください

例年、冬の終わりから春にかけて、特に、三月～五月は多くの山火事が発生しています。

この時期は、空気が乾燥し、森林内の枯草や落葉が燃えやすい状態になっています。これに強風等の条件が重なると、小さな火の不始末から大きな山火事となる危険性が非常に高くなります。

また、日本の山火事の発生原因の多くが人為的なものです。山菜採り等で山に入る機会も増えることから、たき火の管理やたばこの火の不始末などにも注意が必要です。

昨年は、栃木県足利市など、住宅地のすぐそばで発生した山火事が社会的に大きく注目されました。

山火事は一旦発生すると、消火は容易ではなく、また、長い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬にして失うこととなります。

一人ひとりが火の用心を心がけ、日本の素晴らしい森林を守り、後世に引き継いでいきましょう。



今年のポスターには、兵庫県加古川市立氷丘中学校2年の田尻舞子さんの作品が、標語には、香川県三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校3年の久保文乃さんの作品が選ばれました。



山火事予防パレード出発式（写真提供：青森県）

【近年の山火事の発生状況】

区分／年次	H28	H29	H30	R元	R2	平均 (H28～R2)
出火件数 (件)	1,027	1,284	1,363	1,391	1,239	1,261
焼損面積 (ha)	384	938	606	837	449	643

資料：消防庁統計資料より作成

出火件数と焼損面積を1日あたりに換算すると、全国で毎日約3件発生し、約2haが焼失していることになります。



地上消火活動 (写真提供：宮崎県)

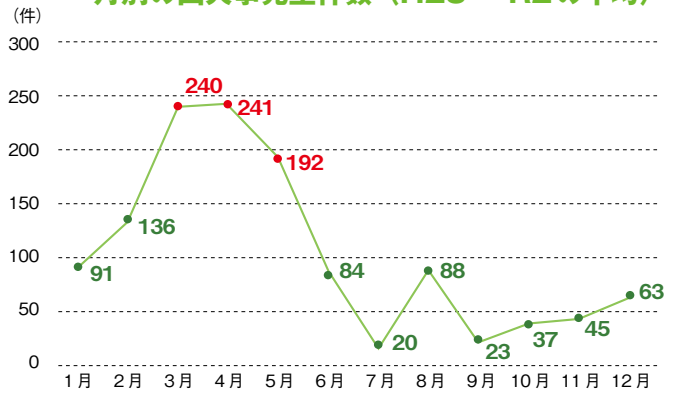


空中消火活動 (写真提供：中部森林管理局)



山火事後の林内 (写真提供：栃木県)

月別の山火事発生件数 (H28 ~ R2の平均)

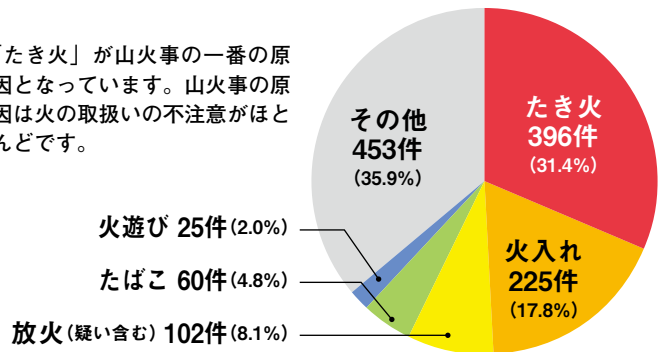


資料：消防庁統計資料より作成

例年、山火事の半数以上は3～5月に発生しています。

出火原因別発生件数 (H28 ~ R2の平均)

「たき火」が山火事の一の原因となっています。山火事の原因は火の取扱いの不注意がほとんどです。



資料：消防庁統計資料より作成

林野庁からのお願い

- ① 枯草等のある場所は火災が起こりやすいので、たき火をしないこと
- ② たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ④ 火入れをする際は、市町村長の許可を必ず受けること
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ⑥ 火遊びはしないこと



山火事防止のシンボルマーク「まといリス」

山火事に備えよう！



森林保険



火災



森林保険は、森林所有者を被保険者として、森林についての上記8つの災害による損害を総合的に補償する保険です。山火事防止と併せて、リスクへの備えとしてご検討下さい。

◆森林保険のお問合せ◆ お近くの森林組合、森林組合連合会、または森林保険センターへ (国研) 森林研究・整備機構森林保険センター (代表) 044-382-3500